

ほのけもん

(189) XQボ友の会



郷土の思いをたすきに込めて

県下一周市郡対抗駅伝競走大会の2日目3区(日置~伊集院)を力走する児玉貴洋選手(そお鹿児島農協)。沿道には、職場や地域の方々、所属する消防ラッパ隊など多数応援に駆けつけていました。郷土の思いをたすきにこめて走り続けました。

今月の表紙

薩摩郷句

兼題「最早」

最早孫か三十八才で私や婆

(唱) 少つた早えどん こらまた可愛せが

北村虎王

貫れ話す最早箏笛屋が聞つつけつ

(唱) 昨日ん今日じゃつて 真実ち早耳

西ノ園ひらり

過疎いなつ最早回つきた郷中ん役

(唱) 繰い返繰い返で ひん疲れ申した

上村牛歩

大臣ち喜くだ拳向きや最早辞任

(唱) 何事かよち がつかい地元

二見愚楽満

結婚前へ最早禿でけたDNA

(唱) 早よ式く挙げち 周囲が騒動しつ

諸木小春

大崎短歌会

狼の遠吠えうわさの奥秩父 ロマン求めて
山ゆく男

溝口 稔

テープより朗詠の声流しつひとり歌留
多取りを楽しむ

大和てるみ

今落ちし枯葉一枚とどまらずコロコロコロ
と広庭に遊ぶ

行騰泰子

さりげなく優しく頬を撫でゆくは春の気配
の母のぬくもり

中崎ハナエ

如月とふ凜とせる月老いびとと言へども吾
も凜と生きなむ

原田葉子

大崎俳句会

水仙や深き眠りの藏二つ

内田ちどり

緑濃きお茶の香りの葛湯かな

溝口 稔

生ごみの土に葉牡丹並びけり

三浦倫子

着ぶくれていつもの道や風の中

中崎ハナエ

笹鳴きや宅配便の贈り物

二見 淑

葉の花のほつほつ咲けり大隅路

桑原正樹

ガーベラの赤き一輪淋しかり

町田ヤス

人権啓発シリーズ 24-11

同和問題② (大崎町人権教育・啓発基本計画より)

■施策の方向性

- ③行政職員をはじめとする特定職業従事者の資質の向上を図るために、職員研修の充実、指導者養成に努めます。
- ④えせ同和行為は、同和問題に誤った認識を植えつけるなど、同和問題の解決にとって大きな阻害要因となっているため、法務局等関係機関と連携し、排除に向け啓発に努めます。